

Title	前号目次 編集後記 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1949
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.42, No.2 (1949. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19490201-0068

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

に於て書かれてゐる點が相共通して居た。勿論、スミスがマルクスとの對比に於て見られたのは今日に始るものではなく、古い。それが今日に於て、特に對比せられ、論ぜられるに至つた點については充分反省せられなければならぬ。

スミス(古典學派)よりマルクス(社會主義經濟學)への理論的發展を、學說史的に探求する事は、特に中間にリカードを介して發展せしめられた労働價值説的發展を考へる場合極めて重要であつて、今後と云へども、この發展はより深く研究されねばならない。然しながら、我々はアダム・スミスの經濟學の正しい把握を可能なら

しめ、スミス經濟學の持つ時代的意義と時代的制約性とをあまりなく了解し得るためには、完成せられた理論を通して爲される事が極めて重要であると考へる。スミス經濟學は労働價值説の上に立ち、再度反省せしめられる時に、スミス經濟學の歴史的意義は正しく把握しえられ、同時に、スミス經濟學が研究對象とした「近代的市民社會」の構造が全機構的・體系的に把握し得る根據が與へられるのであつて、かくしてのみ、市民社會——資本主義社會の危機を克服し得る變革の論理がより明白に與へられて來るのではなからうか。

(二四、一、三三)

前號(第四十二號)目次

論說

シュマルテンバッハの經營經濟學研究方法について(一)

小高泰雄

マルクスの階級論について(二)

古澤源刀

資料

英國近代社會の生成と賃銀理論

黒川俊雄

賃銀學說史序説(一)

黒岡正夫

編輯後記

一國の暴政は必ずしも暴君暴吏の所爲のみに非ず其實は人民の無智を以て自ら招く禍なり……人民若し暴政を避けんと欲せば速に學問に志し自ら才能を高めて政府と相對し同位同等の地位に登らざる可らず是即ち余輩の勸る學問の趣意なり(福澤諭吉「西洋事情」)

この短い言葉の中に、封建主義に抗し、絶對主義に相對して眞に人民の無智無氣力を嘆じつゝ、民衆をして眞に獨立せしめんとする偉大なる熱情の叫びを聞くことができる。民衆の幸福を計り、人民の獨立、解放を企圖しえぬ學問は眞の學問ではない。いたずらに特定の主人に奉仕し、祿を喰ひを任とする學問は眞の學問ではない。我國への學問の移入の歴史を回顧するとき、當初は封建制度及び、絶對主義に對する批判、抵抗、變革の契機をもつて入りながら、日本ブルジョアが絶對主義との闘争を避けて妥協するに至つたその時より、絶對主義的秩序の維持、固着に、そのための人民支配の具になり。それはもはや本來の人民のための、民衆の幸福のための學ではなく、眞の科學性を喪失した單なる技術學の名すらうけるものにしてきたことを知るのである。

今日こそ、今一度福澤先生の言葉を吟味し、民衆と共にある學問再建を熟考することが大切であらう。北大西洋條約調印の終了した今日、ようやく二月號を世に送ることが出来た。御一讀せられんことを切望して止まない。最後に、本誌が一般書店より入手出来ずとの非難の聲を度々聞く、當方の出版事情もさることながら、何とも申譯ない次第である。廣く本誌が讀まれ、批判検討せらるることにより、學的水準を高めると共に、何等かの意味で學界に寄與し、民衆啓蒙の具に資しうれば幸と念じている。

昭和二十四年一月二十五日印刷 第四十二卷
昭和二十四年二月一日發行 第二號

本號定價 金五拾圓
送料 四圓

發行所 東京都港區芝三田三丁目一〇二番
高村象平
印刷所 東京都港區芝三田三丁目一〇二番
川口芳太郎
圖書印刷株式會社

預約購讀料 一年分 金六〇〇圓(送料共)
半年分 金三〇〇圓

豫約購讀料は發賣所宛お拂込み下さい。
誌代變更の場合は精算済致します。
編輯に關する用件は發行所へ。
營業に關する用件、購讀申込は發賣所へ願ひます。

發行所 東京都港區芝三田三丁目一〇二番 慶應義塾經濟學會
發賣所 東京都港區芝三田二丁目一〇二番 慶應出版
日本出版協會會員 二二〇一九